

2026年3月18日
川崎重工業株式会社
共栄バルブ工業株式会社
株式会社中北製作所
株式会社フジキン

40,000 m³型液化水素運搬船向けの低温バルブの製作について 川崎重工業とメーカー3社が契約締結

川崎重工業株式会社（代表取締役社長執行役員：橋本 康彦、以下、川崎重工）と共栄バルブ工業株式会社（代表取締役社長：濱口 雅博、以下、共栄バルブ工業）、株式会社中北製作所（代表取締役社長：宮田 彰久、以下、中北製作所）、株式会社フジキン（代表取締役社長：田中 久士、以下、フジキン）の4社は、川崎重工が建造する、日本水素エネルギー株式会社向け 40,000m³型液化水素運搬船（以下、本船）の低温バルブの製作について、契約を締結しました。

川崎重工が建造する 40,000m³型液化水素運搬船に採用される各社製品は次のとおりです。



共栄バルブ工業製
低温用玉形弁・逆止弁



中北製作所製
低温用バタフライ弁



フジキン製
低温用ミニチュア弁

これらのバルブは、本船が液化水素を輸送するにあたり、貨物の荷役および遮断を行う上で、品質・安全の両面から極めて重要な役割を担うものです。世界初の商用液化水素運搬船へ搭載するために、各社がこれまでに蓄積してきた経験と技術の粋を集結して開発されました。また、極低温かつ水素環境に適した材料および構造を採用し、高い断熱性とシール性能を考慮した設計とすることで、液化水素の安全性かつ信頼性の高い海上輸送の実現には不可欠な中核機器となります。

4社は今後も、液化水素運搬船の建造を通じて、液化水素サプライチェーン構築の商用化実証に貢献するとともに、2030年以降の国際的な液化水素サプライチェーンの構築とカーボンニュートラルの実現に取り組んでまいります。



右から
共栄バルブ工業 代表取締役社長 濱口 雅博
川崎重工 執行役員 エネルギーソリューション&マリンカンパニー
船舶海洋ディビジョン 副ディビジョン長 本井 達哉



右から
中北製作所 代表取締役社長 宮田 彰久
川崎重工 執行役員 エネルギーソリューション&マリンカンパニー
船舶海洋ディビジョン長 荻野 剛正



右から
フジキン 代表取締役社長 田中 久士
川崎重工 執行役員 エネルギーソリューション&マリンカンパニー
船舶海洋ディビジョン長 荻野 剛正

◆各社概要

1. 川崎重工業の概要

商号	川崎重工業株式会社
本社所在地	神戸市中央区東川崎町1丁目1番3号
代表者	代表取締役社長執行役員 橋本 康彦
事業内容	航空宇宙システム事業、車両事業、エネルギーソリューション&マリン事業、精密機械・ロボット事業、パワースポーツ&エンジン事業及びその他事業
大株主及び持ち株比率	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口） 14.40%、 株式会社日本カストディ銀行（信託口） 7.21%、 日本生命保険相互会社 3.42%

2. 共栄バルブ工業の概要

商号	共栄バルブ工業株式会社
本社所在地	大阪府貝塚市南町19番11号
代表者	代表取締役社長 濱口 雅博
事業内容	超低温・極低温用バルブの製造
大株主及び持ち株比率	非公開

3. 中北製作所の概要

商号	株式会社中北製作所
本社所在地	大阪府大東市深野南町1番1号
代表者	代表取締役社長 宮田 彰久
事業内容	自動調節弁、バタフライ弁、遠隔操作装置の製造、販売
大株主及び持ち株比率	株式会社ミヤキタコーポレーション 12.67% 中北 健一 7.58% 宮田 彰久 3.28%

4. フジキンの概要

商号	株式会社フジキン
本社所在地	大阪府大阪市北区芝田1丁目4番8号
代表者	代表取締役社長 田中 久士
事業内容	流体制御機器・システムの総合メーカー。半導体、水素、製薬、分析・計測、宇宙、ライフサイエンスなど各種産業で事業展開。
大株主及び持ち株比率	非公開

◆関連リンク

日本水素エネルギーと川崎重工、世界最大となる 40,000 m³型液化水素運搬船の造船契約を締結（2026年1月6日）

https://www.khi.co.jp/pressrelease/news_260106-1.pdf